

超速報!

中学英語準備講座 (フォニックス講座)

開催日(令和8年度分)

日時・会場

説明会●2/1(藤崎)17:30~

第1期●2/8(藤崎)15(藤崎)22(藤崎)3/1(リモート)4回

第2期●3/8(リモート)15(リモート)22(リモート)29(藤崎)4回。最終日3/29は英語S1コースの説明、体験会を兼ね藤崎本館にて開催
計8回いずれも毎週日曜日17:30~18:30+α

要項●これから英語を学ぼうとする小中学生は、まず、集中的にフォニックス(アルファベットの読み方、連なりの読み方、仕組み)を学び、音を聞き、読み、書き取る初歩的な訓練を行います(4技能英語対応)。

小学生はローマ字ベースで英語を理解していますが、この癖を直し英語を英語として理解できる(発音記号なしで英語が読めるようになる)訓練を積んでいきます。

中高一貫校と公立中学校の違いは量です。フォニックスが身につけている子は音でスペルを体得します。英文の処理時間が激減するのです。身につけてない子との4月からの6年間は全く異なるものとなります。

注※4月から始まるS英語中1クラスの説明会はフォニックス最終日3/29(日)17:30~(模擬授業内覧も兼ねます)藤崎本館にて行います。

.....メッセージ.....

「いい仕事をしたい(Sコース英語担当講師)」

令和8年度4月に開講する新中1対象の英語コースは例年と異なる形態で開講することにしました。

ズバリ「久留米附設中学校1年生準拠」。附設の授業の少し先取りを附設の教材(プロGRESSかニュートレジャー)を使って行います。

授業はリモート(Line)で行い、口の動きを確認するフォニックス3回はリアル(藤崎)で行います。

先生は附設生の指導歴40年超。彼女は海外勤務経験を持ちます。

冒頭の言葉の真意は「もう多くの子どもを見ることは望まない。本当に英語のできる人間をこの手で残したい」。この気持ちを汲み上記形態での募集としました(注※先生は至極健康です)。

これ以上の説明は不要かもしれませんが主宰者から「リモート」の理由と「中学受験」で学校が求めている「児童像」について触れたいと思います。

先生の授業は元々教室での「リアル」だけでしたがコロナの影響で「リモート(Line)」を始めました。すると「授業に参加する子」と「無音の子」にはっきり別れました。

前者の英語力はあるレベルが高く、量も多い附設の授業でも積極的に参加でき、順位も載る。しかし、後者は授業に参加しさえすれば成績が上がると思っただけで全く準備せず授業に臨み、促すとシャッターを閉ざす。勿論、全く英語はできない。

「教室で授業をやって頂けないでしょうか?」

自分が言っても勉強しないので先生に側にいてもらいたい。

FCSは多くの高校生、一貫生を見てきました。そこで見た学校が求める児童(生徒)像は何か?それは既に(言われなくても)学んできて、手のかからない児童(生徒)を先生達(学校)は求めているようです。彼らは課題は出しますが机につく事は教えない。

本講座は先生が自分の英語技量を伝授する事に集中し「附設の授業を俯瞰できる生徒を創る(こうなると授業が面白くなる)」指導をされたいようです(競争=階層や点数で勉強させると先生の指導は楽、技量もさほど必要としない。ただ、半分以下の順位に沈んだ子にはこの手法は通用せず勉強も続かない。だから英語の学びを楽しく変える勉強に「気づかせなければ」ならない)。

その日にやった事、単語全ても翌週までに身につけて授業に臨む人間を創る。四六時中英語を口にしないと気が済まない習慣を創る(「リモート」なら通塾時間もスピーキングに費やす事もできる)。

最後に附設を目指して叶わなかった子や公立高校を目指すため公立中に通っている子で附設中生が学んでいる英語を学びたい生徒(児童)の参加は大歓迎です。

国立大学
医学部医学科
4年連続
現役合格

超速報!

250

九大プレ北予備
9月返却分理系数学
福岡市内一貫高3会員
中1入会
250点満点中

九大受験者なら分かる
驚異の結果(途中過程詳細は裏面)
結果を出す選択肢
選択は慎重に、遅れずに

学年がない画期的な理数専門塾

検索

福岡チャータースクール

お電話でのお問い合わせは 092-845-9981

《●広告制作◆株式会社福岡チャータースクール ●教室所在◆福岡市早良区高取2-17-38エトワール藤崎2F~早良区役所正面》

Jコース 国語

国公立医学科に
進学させたいのなら・・・

■ Jコース国語要項

日時●毎週水曜日20:40～21:40

会場●F C S 藤崎本館

目的●現代文では、論説文・随筆・物語文の基本的な読解パターンを学び、設問の意図に応じた読み取りを身につけます。

選択肢問題の根拠の取り方や、記述問題で減点されない答案の書き方も指導します。

古文については、頻出語彙・文法（助動詞・助詞）敬語を中心に、高校入試で求められる基礎を定着させます。

文章の大意把握・現代語訳の演習を通じて、苦手意識の克服と得点源化を図ります。

漢字・語彙・文法問題についても定期的に演習を行い、全体的な得点力を強化していきます。

新中1の国語●共通テストで国語がこけると国公立医学科の進学はそこで終了です。基本的に中学準備・予習講座は英・数で開設していますが、国語（理科）希望者には2月から通常授業に参加頂くことができます。通常授業には体験がありますのでそこで直接先生と相談されて下さい。

Jコース 数学

■ Jコース数学要項

◆学年に関係なく中学数学を速習できる画期的講座

転塾して来た修猷館高校1年生が「これ去年塾で習いました。でも『そうなるから』で、何故そうなるかを今日初めて知りました」と答えました(説明できない?)。

新課程数学になり中学数学と高校数学の境界は小さく(幾何・データ・整数・確率)先生の技量への要求はシビアになっています(誤魔化せない)。

F C Sは元々修猷館・久留米附設高校等の学校の授業を予習できる、首都圏でも数少ない理数専門塾です。だから高校数学に全対応できる講師陣が標準。その彼らが教えます(他塾、個別のような事は起きません)。

まずは高校受験組にはウィニングプラス(標準的な塾教材)を自分のペースで解かせます。3まで終わったら(久留米附設中の教材である)Aクラスに進み、附設中と同じ環境を目指します。一貫組は学校の教材である、体系数学、Aクラス(これが大変)の先取りをします。

現在、大学進学実績を誇る中高一貫校では青チャートを早く買わせて中学数学と高校数学を混ぜて教える中学校も増えました。F C Sも生徒のコンディションに合わせて教材(チャート)を貸与し、取り掛かりを助けます。

一貫生は三平方の定理の履修を終えたら、Rコース(高校数学予習講座)に昇格です。

◆会場 藤崎(火、木、土、日朝) 時間帯は HP

◆難関私立高校受験対応◆中学数学終了後随時Rコースへ

◆公立中生で一貫中の数学を学ぶ事も可。

◆新中1の数学は2月から学校の教材(附設、ラサールならAクラス、大濠、上智なら体系数学、公立中、西南中は塾教材のウィニングプラス数学1)を入試の勢いで解かせます。灘、麻布中の生徒は高校数学予習講座に例年飛び級です。

Jコース 理科

物理基礎、化学基礎
生物基礎のレベルまで
中学生にも説明

■ Jコース理科要項

日時●毎週水曜日19:30～20:30

場所●F C S 藤崎本館

要項●本講座では中学校理科の基礎をしっかりと身につけて定期テストや高校入試で高得点を目指します。また、理科への興味を育み、高校の理科でも通用するような知識をさらに学習していただく事で、より高い視点で中学理科を学ぶ能力を養うことを目標としています。

●10月は授業は(毎月可変。参考になれば幸いです)

▼中学1、2年

物理または地学の内容を自宅で予習→授業→演習の解説→自宅で復習を繰り返し進めていく予定です。

単元は生徒の学校の進度に合わせて変更することもあります。

▼中学3年生

生物分野または地学分野を授業と演習を通して予習します。

もし、中学範囲の理科を全て履修し終えている場合はご相談ください。入試対策等、個別に対応いたします。

▼中高一貫生

授業で扱うと思われる、高校の化学基礎や物理基礎、生物基礎の内容を先取りしつつ、中学理科の内容の深い学びを提供します。

●授業計画案(参考※1年間で中学理科全体像を講義演習する内容になっているのが特長です)

▼3、4月は物理(GW勉強会で物理ダイジェスト)

▼5、6月は化学

▼7、8月は物理・化学の復習→応用問題演習
(夏期講習会で物理・化学ダイジェスト)

▼9、10月は生物

▼11、12月は地学(中学地学は意外と重たいのです)
(冬期講習会で物理・化学・生物ダイジェスト)

▼1、2月は中学1、2年生は生物・地学の復習→応用問題演習、中学3年生は12月の地学の範囲を絞り、その後志望校に準じた入試問題演習とします。

※上記のカリキュラムはあくまでベースであり、入塾・受講時期や出席状況、生徒の希望に応じてズレが生じますのでご了承ください(参加者の学校の進度を考慮)。

※課題を出します。これをやらないと十分な学力向上は望まれません。プリント整理の不得意な生徒は親御さんにも助力をお願いいたします。

※化学基礎、物理基礎、生物基礎を学びたい方はご相談下さい。

新中1の理科●中学受験の理科はほぼ公立高校入試内容です(高校入試レベル理科力を持つ小学生が欲しいのです。灘レベルは計算力がそこに付加されます)。ですから中学受験経験者はそのまま通常授業に参加できます(体験して先生と直接、入学式までの間について相談できます)。